



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原 茂吉

第3グループ
ガバナー補佐 西澤 長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2949例会 2021. 2. 24

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 57-35)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日 (12:30~13:30)

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

《臨時休会》

【会長報告】

皆さんこんにちは。飯能地区においては、新型コロナウイルス感染者が減少しつつあり、このまま落ちついて頂きたいものです。3/7の緊急事態宣言が予定通り解除され、安心して例会が再開出来る事を期待しております。例会再開に向け、クラブとして更に感染防止対策について検討致しております。皆様からのご意見ご提案がありましたらよろしくお願い致します。

「日々是好日 (にちにちこれこうにち)」

人生には、楽しく喜びに満ちあふれた日もあれば、つらく悲しみに打ちひしがれる日もある。どんな日も人生にかけがえのない経験をもたらしてくれる一日。

人生は日々の経験によって紡がれていきます。もちろん、心弾む経験ばかりがあるわけではありません。むしろ、その逆の経験のほうが多いのが人生です。

仕事でミスをした、人間関係をしくじった、恋人に別れを告げられた、子どもとの関係がギクシャクしてしまった……。人生は天気にも似て、爽快に晴れ渡った日もあれば、どんよりと曇った日もある。また、心が塞ぐような雨の日もある。

しかし、そのどれもが人生のなかで、その日以外にはできない経験、かけがえのない経験です。そうであるから、どの日も「好日」、すばらしい日である。

人生でただ一度、その日にしかできない経験なら、真正面から受けとめる。それが禅の考え方です。真正面から受けとめるとは、斜に構えたり、シニカルに捉えたりするのではなく、湧き出てくる感情そのものに、素直にひたすこと。

経験が気落ちするものであったら、とことんまで気落ちすればいいのです。やせ我慢をしたり、虚勢を張ったりする必要はありません。心がしぼんだら、しぼんだままの心になりきってあげればいい。

ジャンプをするときには、いったんひざを曲げて、深く沈み込むはず。それと同じで、落ち込みきってから、心がグンと上昇する、前向きになれる。

仕事で失敗して、悔やみきったという経験があると、同じ境遇に置かれた人の気持ちがわかるようになります。もし、親しい人がそんな思いにとらわれて、打ち沈んでいたら、その気持ちにそっと寄り添うことができるでしょう。対応も的確なものになる。

「あのときキミは、とってつけたような慰めの言葉なんか、いっさい口にしないで、黙ってそばにいて酒を酌み交わしてくれた。あれで吹っ切れたなあ。ほんとうにありがたかったよ」

いつか相手からそんな言葉が語られるに違いありません。寄り添うことで、その相手との絆が生まれるのです。失敗の悔恨をくらまして(中途半端にして)いたら、通り一遍の対応しかできません。両者の違いは人間の器の違いだといっているのです。

気持ちが落ち込むようなつらい経験、苦い経験、悔しい経験、悲しい経験……は、心を磨く研磨剤である。心を磨き、強く、しなやかに、やさしく、してくれるのです。それは、人間としての器を広げることにほかなりません。

今日は、明日は、どんな日でしょう。でも、もう安心です。いかなる日も「好日」として受けとめる心の構えは、すでにできているのですから……。

【ロータリー情報】

■ 理事会運営の原則

理事会はクラブ内において、最高の自主管理権を持っています。総会を最高の議決機関とする一般の常識はロータリーには適用されておらず、理事会がすべての議案に関する先議権を持ち、クラブ事項に関する理事会の決定は最終決定となります。クラブの代表権者は会長と幹事ですが、この代表権といえども理事会の決定が優先し、理事会がこれを拒否すれば無効となります。理事会の決定をくつがえすためには、定足数を満たした例会で三分の二以上の賛成を得なければならず、これは事実上不可能に近い数であると共に、万一これが可決された場合には、理事会の不信任にさえつながり兼ねない重大事といえるでしょう。理事会が大きな権限を持つことは、

同時に大きな責任を持つことを意味します。議事の提案に当たっては事前に会員の意見を充分聞く配慮が必要であり、決定に当たっても理事全員のコンセンサスを得るべきであるという理由から、理事会の決定については、過半数主義を採らず、全員一致主義を採用しているクラブも多いです。

- 例会の変更、取消
- 例会充当時間に満たない出席の判定
- 名誉会員の身分存続
- 職業分類の是正、訂正
- 出席補填…理事会が承認した奉仕プロジェクト、行事、会合
- 出席免除…理事会が承認した理由
- 会員身分終結

などかなりの部分が、理事会の裁量に委ねられるようになったので、慎重かつ適正な決定が必要です。

■役員・理事とその任務

会長

形式上のクラブ代表者であり、しばしば象徴としての天皇に例えられます。一般社会では会長を代表権者とみなしますが、ロータリーではRIや他クラブと対処する場合は会長・幹事が共に代表権者となります。対内的にはクラブ運営の責任と事業の執行権および役員や委員長の任命権を併せ持ちますが、執行権は本来の代表権者である幹事に任せるべきでしょう。

会長にはクラブ運営という大きな責任があり、クラブの自主性を生かし活性化を図るためには、強いリーダーシップが要求されます。会長の特権として、毎例会に会長の時間が与えられます。会長の時間は会長挨拶ではなく、奉仕理念を提唱する貴重な時間です。会員に対する奉仕理念の提唱こそ、会長に与えられた最も大きな責任と言えましょう。

世俗の論理を尊重しがちの日本では、会長の選挙にあたっては、どうしても社会的地位とか年功序列にとらわれやすく、その結果として若い会長が極端に少ないです。会長を経験しなければガバナーになれず、ガバナーを経験しなければRIの理事や会長になれない規約なので、会長に就任する年齢が極端に高い日本からは、働き盛りのRI役員を出すことは先ず不可能なのが現実です。RIの中でリーダーシップを発揮するためには、若いクラブ会長を作ることがその第一歩となります。

総会及び理事会の議長を務め、すべての委員会の職権上の委員となります。

就任条件として、会長エレクトの期間に、会長エレクト研修セミナーと地区・研修協議会に必ず出席するか、またはガバナーの許可を得た上で、代理者より研修報告を受けることが要求されています。

副会長

会長を補佐し、会長不在のときは会長の任務を代行すると定められており、ロータリーでは副会長を会長に次ぐナンバー2の職責とは考えていないのが特徴です。その観点からは、多くのクラブが採用している、副会長をクラブ管理運営委員長や会長エレクトと兼務させる習慣は適当とはいえません。副会長の責務を、会長不在のときの会長の代行という名誉職に近いものとするならば、その選任に当たっては、高齢や業務などの関係で会長を務めることが難しい会員を充てる方が、より公平な選任方法かも知れません。

もし、副会長がクラブ管理運営委員長(理事)を兼任するならば、クラブ奉仕部門の関連委員会への助言と相互の連絡調整を行わなければなりません。関連委員会の委員長にはその委員会の運営や事業の実施について、独立した権限が付与されているので、越権行為にならないよう注意が必要です。

理事

クラブ理事はクラブを管理するために選出され、任命されたクラブ委員会委員長はクラブの目標の遂行を受け持つものとされています。理事は、委員会や予算案について客観的な意思決定を行うことがで

き、クラブ委員会委員長は、各自の委員会の活動に焦点を当てます。

幹事

幹事は執行部門の代表者として、内閣総理大臣に例えられ、実務上の権限と責任を持ちます。正副委員長や委員の選定(任命権は会長)等の人事、予算組み、会員の入退会、事務局等のクラブ管理に関する実務的事項は、すべて幹事を窓口として処理されます。

しかし、近年、幹事の権限が徐々に縮小されて、その権限を会長に移す傾向が強くなり、1962年のRI理事会決議によって、その任期も他の役職同様に一年間が原則となりました。

執行部門の代表権者としての発言、助言、勧告以外に、理事会や委員会の運営に関する権限を持ちません。従って、理事会の議長を務めたり、委員会報告の代行を幹事に依頼することはできません。理事であり、定款細則を始めあらゆる情報に精通した実務上のプロとして、理事会で積極的に発言、助言、勧告する義務がありますが、執行権者という立場から考えれば議決には参加しない方が決定事項を執行しやすい場合があります。

ロータリーに関するあらゆる情報は幹事に集中するので、クラブ会報の編集も本来幹事の役割ですが、実際には副幹事または担当委員会が代行する場合があります。

就任条件として、いずれかの委員会の委員長を経験した会員から任命します。

【具体的職務内容】

- 会員記録の整理保存。
- あらゆる会合の設営、招集通知の発送、出席記録、議事録の作成と保存。
- RIに対する会員半期報告(1月1日、7月1日)、四半期報告(10月1日、4月1日)、出席報告(毎月最終例会直後)を含むあらゆる報告と連絡。
- ロータリアン誌購読料の送付。
- 会員証、メイクアップ・カードの発行。
- ガバナー公式訪問報告書の作成。
- 会長、理事会、委員会、会員との連絡調整。
- 理事会の意向を受けて会計と共に予算書および決算書を作成する。決算処理と会計書類の作成は会計の業務となるが、予算の大枠を組む作業は幹事の責任である。

会場監督

SAA(Sergeant-at-Arms)

Sergeant at Armsは中世ヨーロッパの宮廷で、外国の賓客を招いたレセプションが開かれる場合、その会場をとりしきる役職を模したものであり、例会場の秩序を保つためのあらゆる権限を持つ、重要な役職です。SAAが正式な役職として定められたのは1906年であり、ポール・ハリス、マックス・ウオルフ、チャールズ・ニュートンがシカゴ・クラブの最初のSAAに就任しています。

審議機関としての権限しか持っていない理事会メンバーを超越した、例会場における最高の権限を持つ執行機関の役職です。審議系列とは一線を画する立場上、理事会に出席する義務はありませんが、もし、必要があれば、理事会に出席して発言することができます。審議機関に属さないのに、委員会の呼称をつけるのは間違いです。最近の傾向として、SAAの任務がニコニコ箱の集金係に化しているクラブが多いですが、主たる職務は、あくまでも、会場監督であることを忘れてはなりません。

【具体的職務内容】

- 例会の司会進行。(議長としての役割は会長の職務である)
- 例会場への入場、退場許可。例会場の開門、閉門。
- 早退、遅刻の承認や拒否。
- 私語に対する警告。
- 卓話の時間励行。
- その他、例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令。
- 例会場の設営・テーブルの配置、座席の指定。(親睦活動委員会と共に)
- 食事の献立、業者の選定等食事の手配。
- ニコニコ箱の管理とその募金状況の報告。